

2019 年度

大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び  
人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査結果

2020 年 3 月 25 日 実施

回収数 170 (卒業・修了者計 282 名)

(アンケート用紙は末尾に添付)

大阪大学大学院人間科学研究科 評価委員会



このアンケート調査は、本学部卒業生および本研究科修了生の在学中の生活と意識を明らかにするために行われた。アンケート用紙は令和元年度卒業式当日(2020年3月25日)、人間科学部で開催された学位授与式において式の出席者に配布され、回収された。

アンケートは学生自身、学生生活のこと、大学教育や学生支援、本学部・研究科に関する事項等、23の質問項目から構成されている。

以下、アンケートの設問順に各問の集計結果を図表で示す。

## 問1. 性別

表1 回答者の性別

	人数	%
1. 女性	99	66.0
2. 男性	50	33.3
無記入	1	0.7
計	150	

## 問2. 卒業、修了の内訳

表2 回答者の卒業・修了内訳

	人数	%
1. 人間科学部	95	63.3
2. 大学院人間科学研究科 博士前期課程	46	30.7
3. 大学院人間科学研究科 博士後期課程	8	5.3
無記入	1	0.7
計	150	

### 問3. 所属学科目／学系

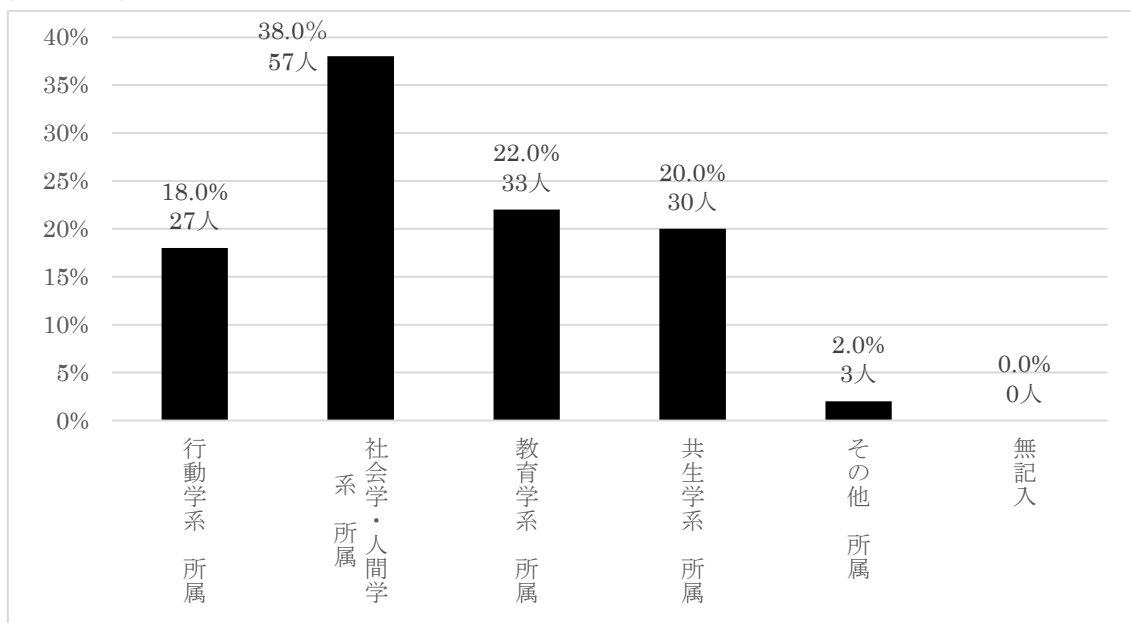


図1 アンケート回答者（150名）の所属各科目／学系の内訳

### 問4. 卒業・修了後の進路

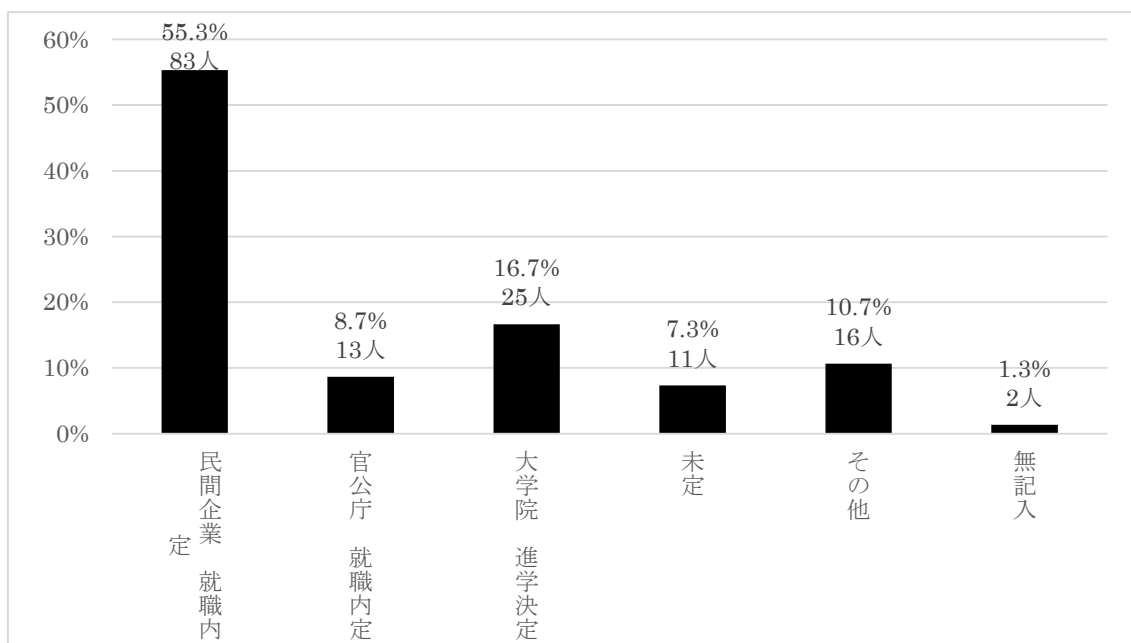


図2 卒業・修了後の進路

#### 【具体的な進路】

- フリーター
- 復職
- 帰国して就職
- 就業中（社会人）

- 研究所
- 引き続き就業
- 自営業
- 日本学術振興会 PD
- フリージャーナリスト

学生生活または院生生活について

問 5. 学科目を定める時の情報について（学部卒業生のみ）

表 3 学科目の情報について

	人数	%
1. 十分与えられた	42	44.2
2. まあ与えられた	46	48.4
3. あまり与えられなかった	4	2.5
4. 全然与えられなかった	0	1.7
無記入	3	3.2
計	95	

問 6. 学科目の選択理由（学部卒業生のみ／複数回答可）

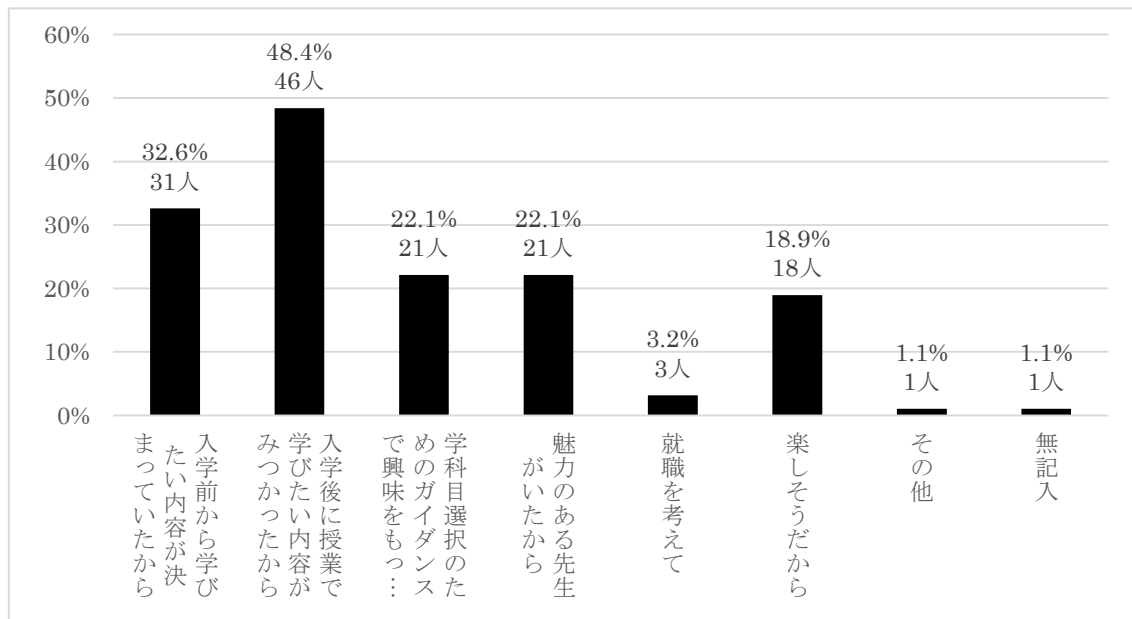


図 3 学科目の選択理由について

## 問 7. 学生（院生）生活で力を注いだ活動事項について

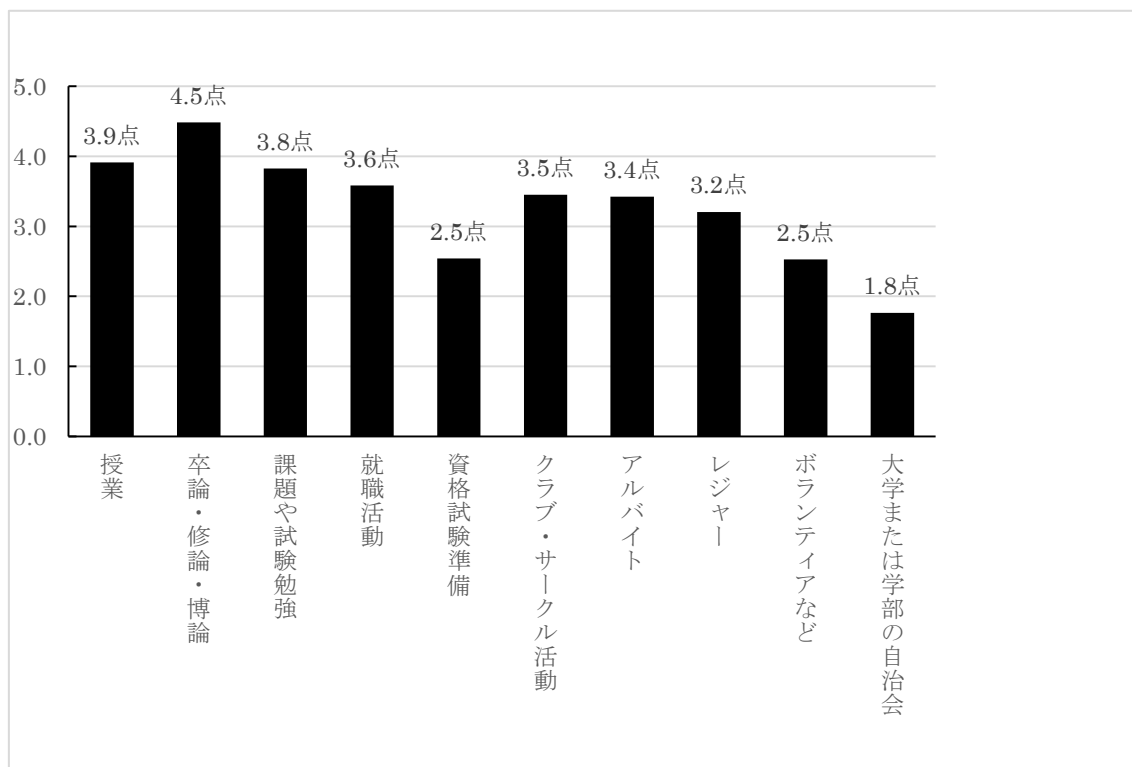


図 4 学生（院生）時代に力を注いだ活動事項

図 4 は学生／院生生活における 10 の活動事項に関して、それぞれの程度力を注いだかについて評定を求めた結果の平均値である。「非常に力を注いだ」を 5 点、「まあ力を注いだ」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「あまり力を注がなかった」を 2 点、「力を注がなかった」を 1 点とした。平均値が高いほどその活動に対し力を注いだと評定されたことを意味している。

### 全学共通教育（豊中キャンパス）のカリキュラムについて

問 8. 「専門基礎教育科目（統計学 A-I、数学 A・B）」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

問 8 は編入生を除く学部卒業生のみが回答。該当者は 120 名。

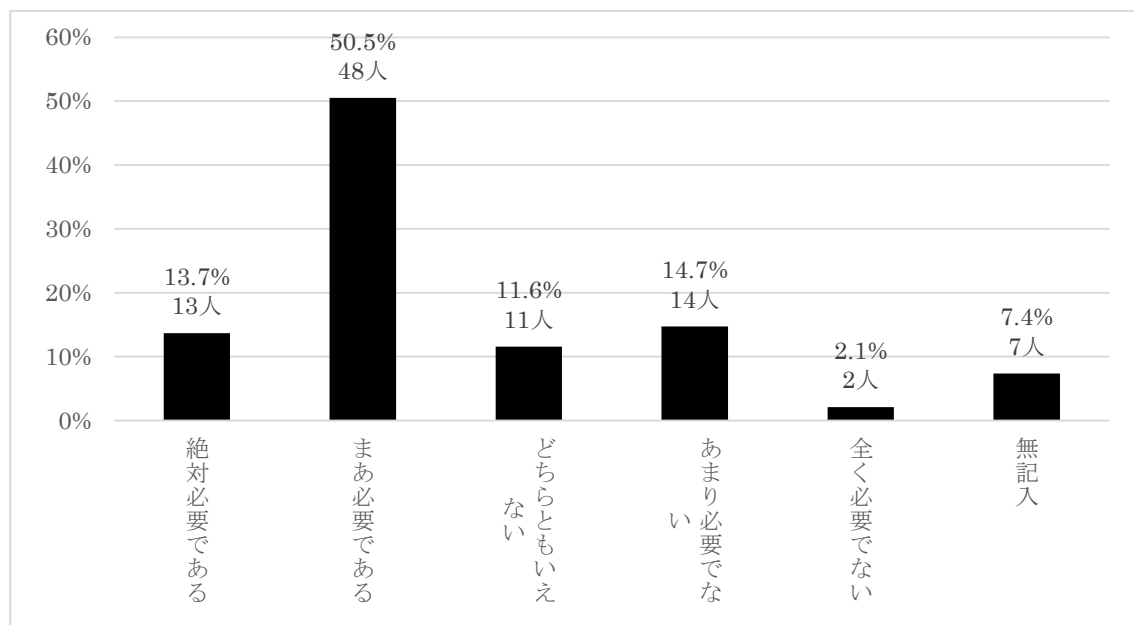


図 5 「専門基礎教育科目」の必要性について

### 専門課程（吹田キャンパス）のカリキュラムについて

問 9. 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについて

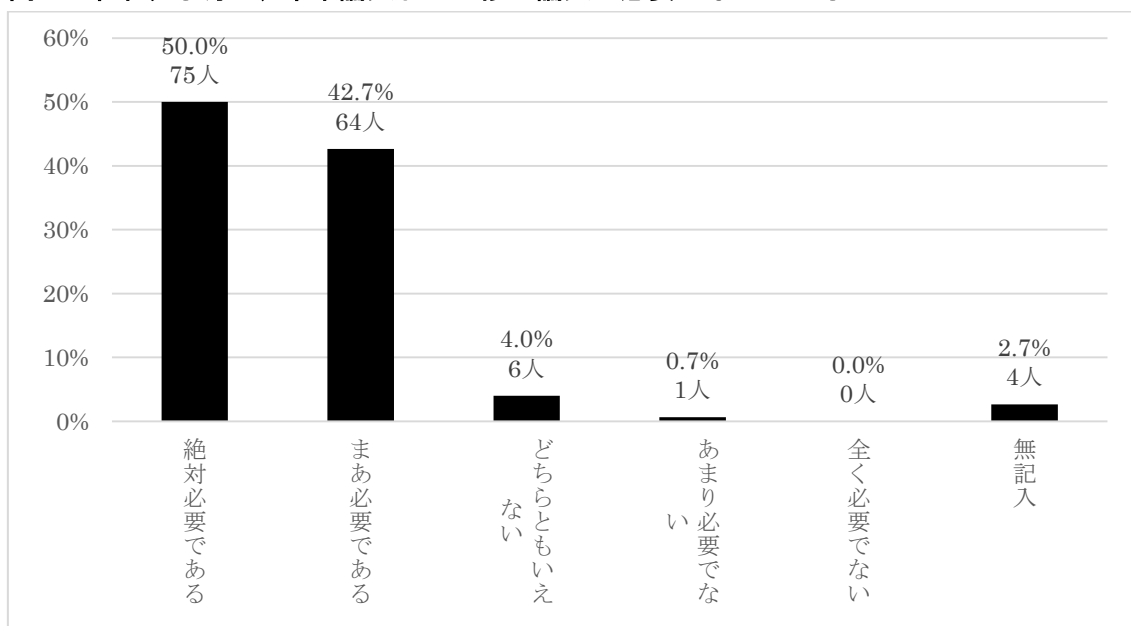


図 6 卒業論文または修士論文について

問 10. 本学部または本研究科で身に付いたこと（複数回答可）

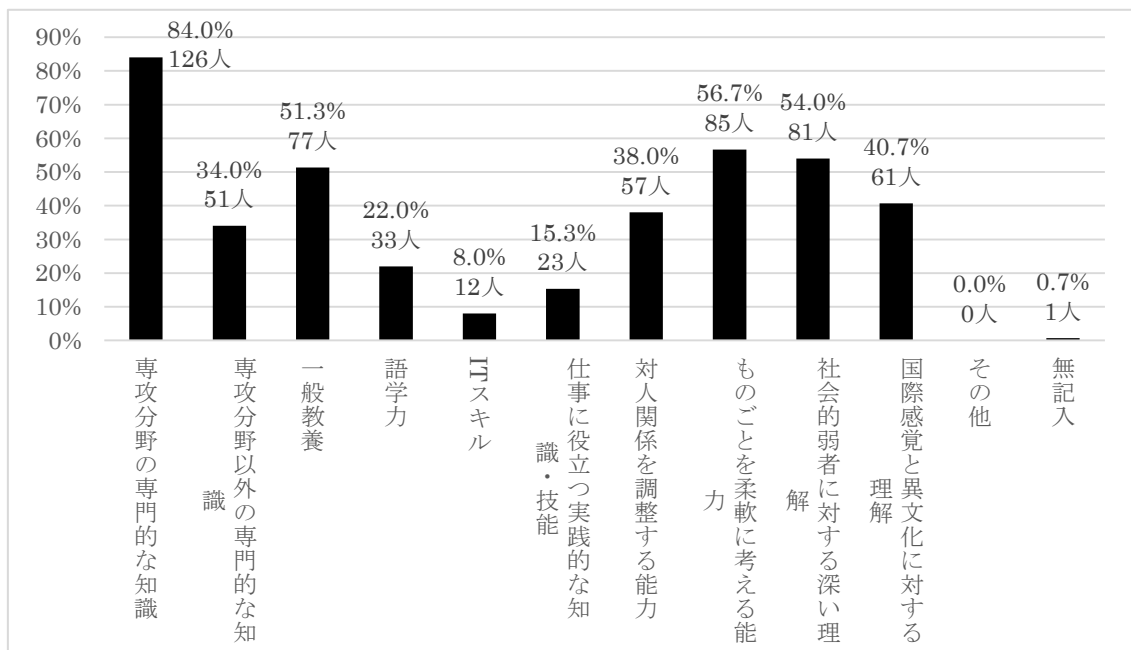


図 7 身に付いたことについて



問 11. 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うこと（複数回答可）

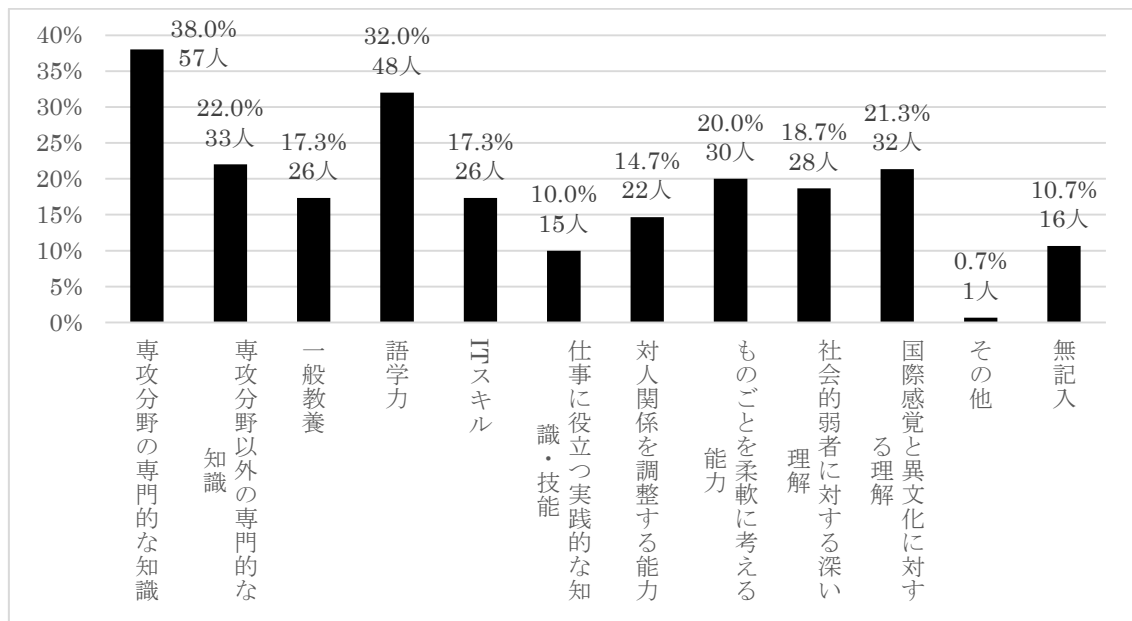


図 8 もっと身に付けられると良いことについて

【その他の回答】

- 統計スキル、プログラミング

**インターンシップについて**

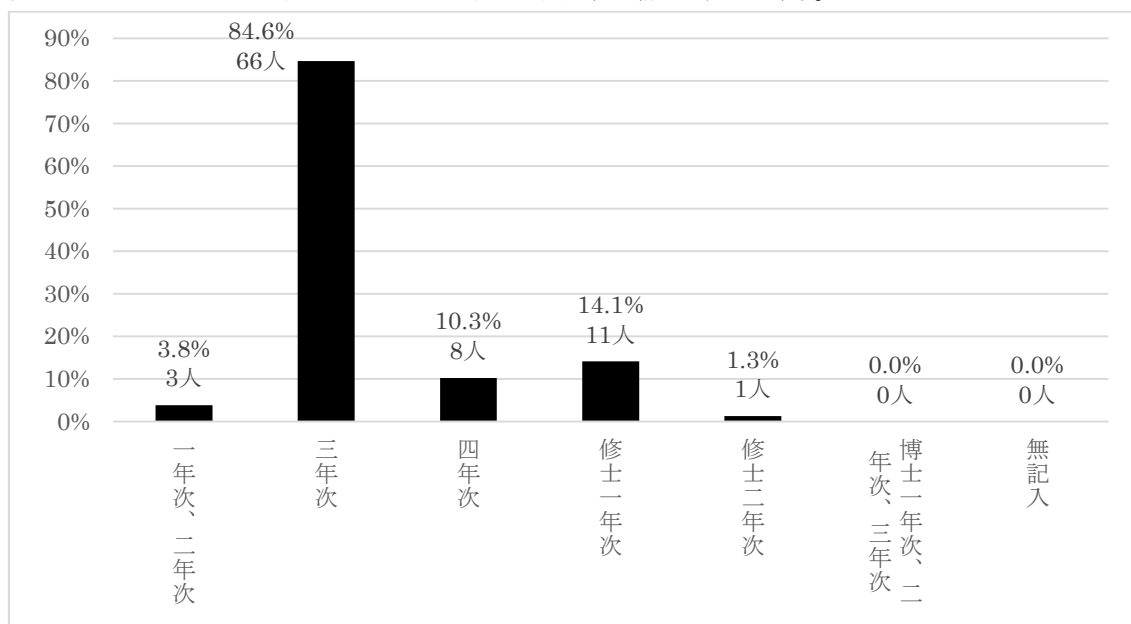
**問 12 . 在学中、インターンシップに参加した状況**

**表 4 インターンシップ参加状況**

	人数	%
1. 参加した	78	52.0
2. 参加しなかった	65	43.3
無記入	7	4.7
計	150	

**問 13 . 参加した学年（参加した学生のみ／複数回答可）**

問 13 はインターンシップに参加した人のみ回答（該当者 78 名）。

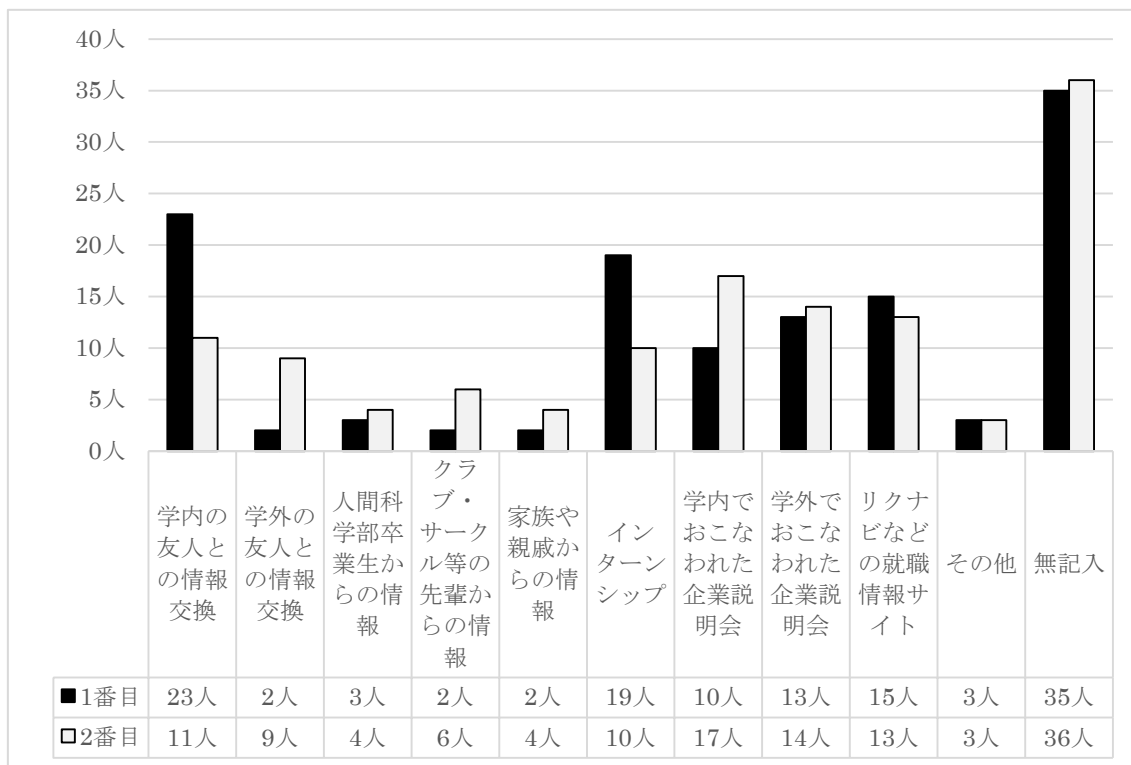


**図 9 参加した時期について**

## 就職活動について

問 14～17 は就職活動をした人のみ回答（該当者 127 名）。

問 14 . 就職活動にあたって、役に立った（重要だった）ものを順に 2 つ選んでください



（就職活動した学生のみ／2 項目選択）

図 10 就職活動で役に立ったものについて

図 10 は就職活動における 9 の事項に関して、役に立った（重要だった）順に 2 つ選択してもらいグラフ化したものである。事項ごとに、黒の縦棒は 1 番目に選択、白の縦棒は 2 番目に選択した人数を示し、数を表記している。

問 15 . 就職活動が一番忙しかった時期（就職活動した学生のみ）

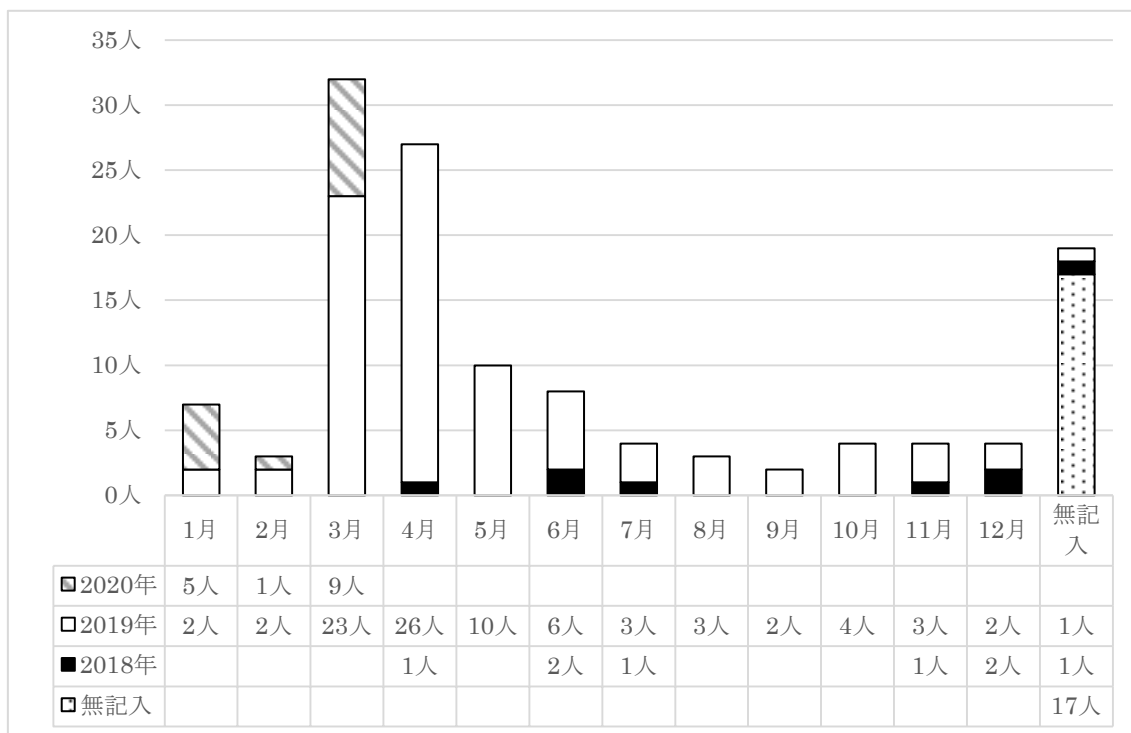


図 11 就職活動で忙しかった時期について

問 16 . 就職活動と学業の両立に困難を感じたか（就職活動した学生のみ）

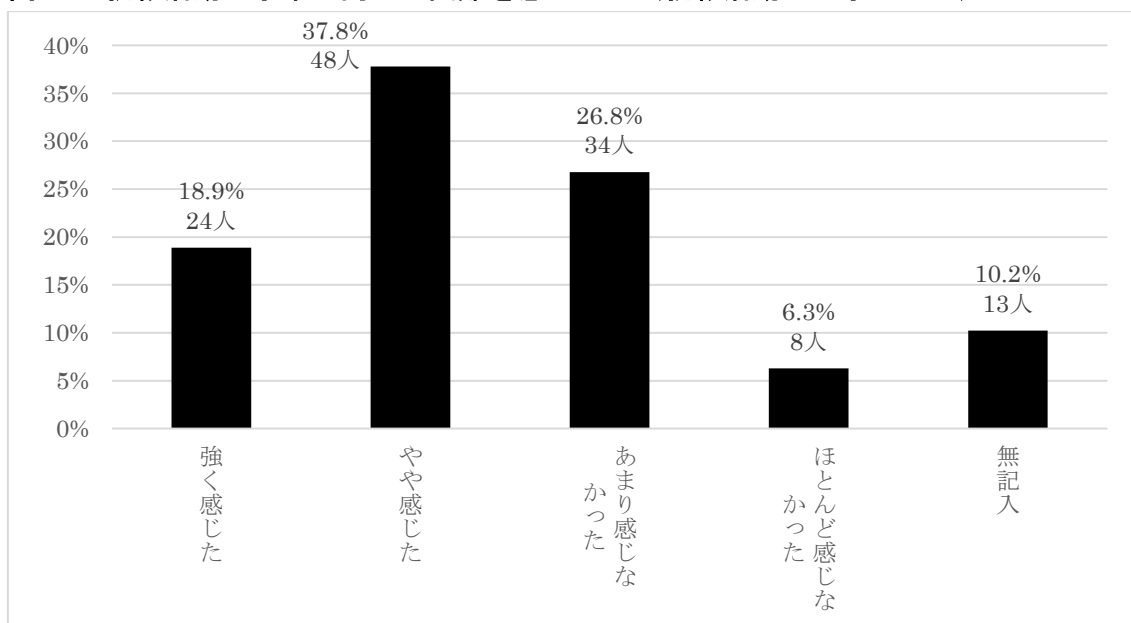


図 12 就職活動と学業両立の困難について

## 就職活動・進路指導・学生支援に対する要望について

問 17・18 は自由記述欄に記入されたものについて、代表的なものを記す。

### 問 17 . 就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科に希望する支援について

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 一対一での個別相談制度</li><li>● 遠方の説明会・選考への経済的支援(複数回答有)</li><li>● どのような業種に向いているか気づかせるイベント</li><li>● 面接対策・ウェブテスト対策</li><li>● 心理・福祉系公務員試験に関する情報や対策講座</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 就職活動について詳しく学ぶための授業</li><li>● 国家公務員についての情報が足りない</li><li>● メンタルケア</li><li>● 就職活動中にゼミを行わない</li><li>● 学部単位の企業説明</li></ul> |
|--|---|

### 問 18 . 就職活動以外の面で、本学部・本研究科に希望する支援について

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 卒論研究の費用負担</li><li>● 学科目についての情報提供</li><li>● ICT を用いた遠隔授業支援</li><li>● 社会人対象の夜間・土日授業</li><li>● 論文の書き方基礎講座</li><li>● 仮眠室がほしい</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 他の研究科との交流</li><li>● プログラミング講座</li><li>● 統計について学ぶ機会</li><li>● Office の使い方講座</li><li>● 秘密厳守のハラスメント相談</li><li>● 給付型奨学金</li></ul> |
|--|---|

**本学部または本研究科に対する総合的な意見について**

問 19 . 総合的に判断して、本学部・本研究科は満足できるものでしたか

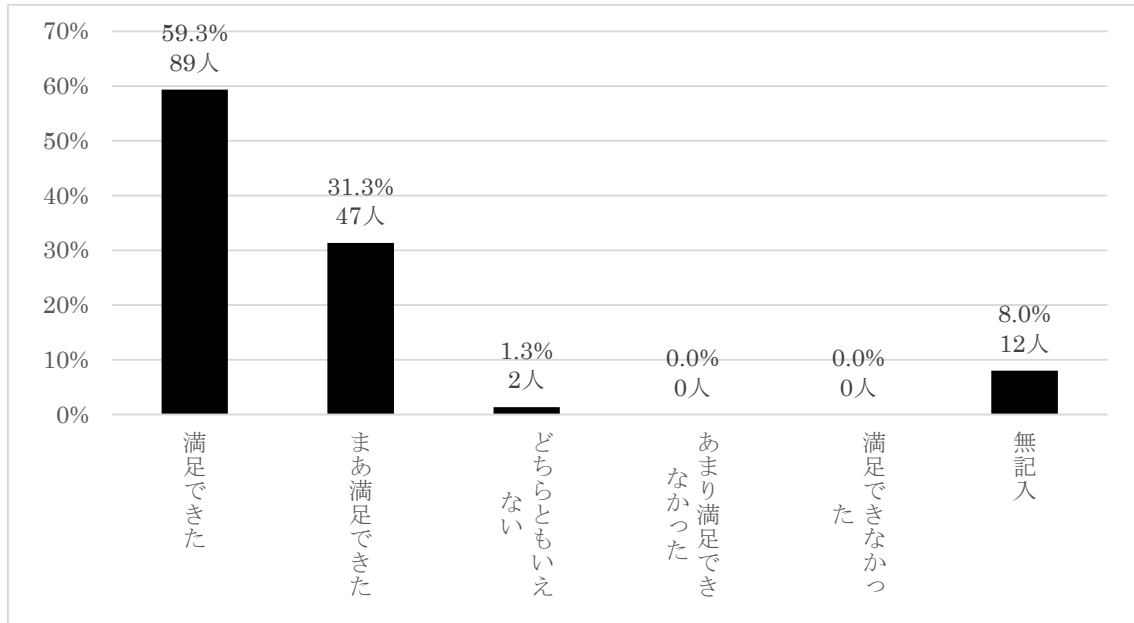


図 13 総合的な満足度について

問 20 . 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は満足できるものでしたか

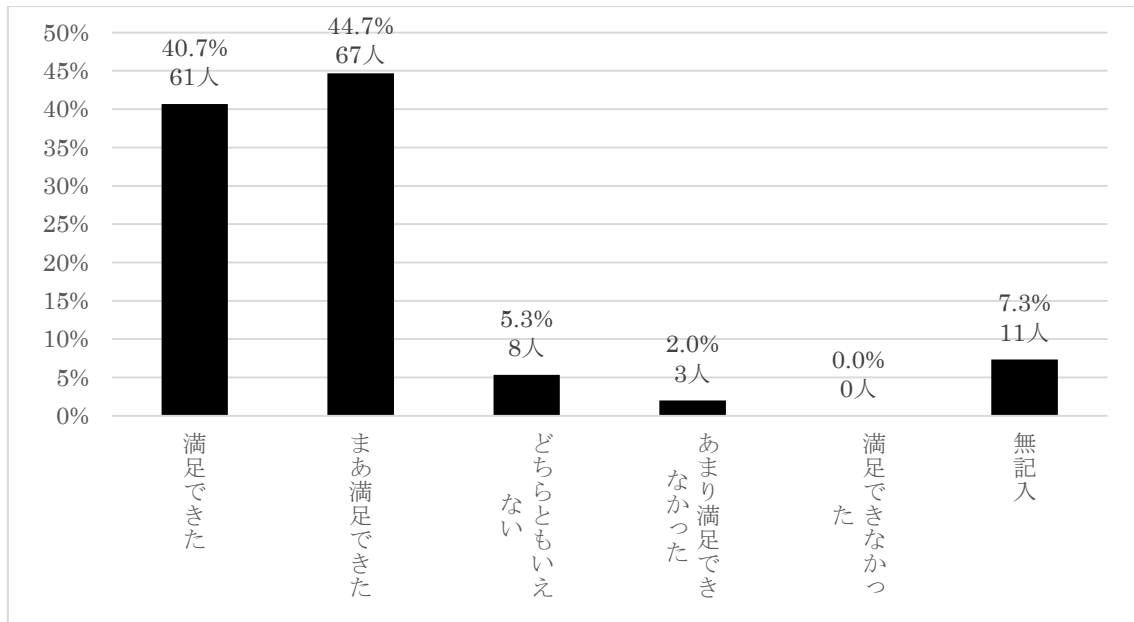


図 14 施設・設備の満足度について

問 21. 本学部・本研究科キャンパスサポート面は満足できるものでしたか

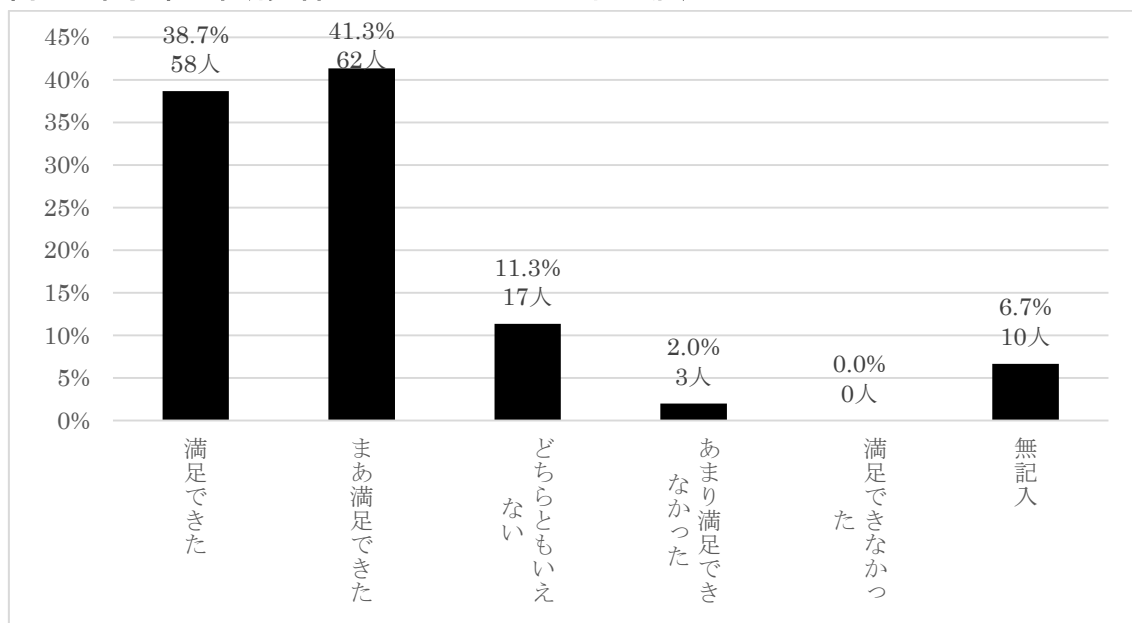


図 15 サポート面の満足度について

問 22・23 は自由記述欄に記入された内容を記す。

問 22 . 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・サポート面で改善して欲しいこと

施設・設備についての要望

- 専攻によって学部生研究室の有無があるのはよくない。
- 図書館の空調が悪い
- 図書館の開館情報を更新してほしい
- 5階のコピー機を使えるようにしてほしい
- 東館や別館のトイレをきれいにしてほしい
- 学生への連絡が遅い
- アカハラ・パワハラについて具体的に有効な取り組みをするべき
- 研究室の PC に統計ソフトをいれてほしい
- 営業時間外の教務の電話対応
- 図書館が暗い
- 単位を自動的に計算するシステム

### 問 23 . 本学部・本研究科に対する意見・感想について

- 幅広い分野を学ぶことができ楽しかった。
- 学びたい学問を学ぶことができた。
- 英語能力を向上させる機会がほしかった。
- 専門以外も学ぶ機会があってよかった。
- GPA 制度が意味をなしていない。
- 事務の対応が早くてよかった。
- 京大に行かなくてよかったです。
- 卒業できるか最後まで不安だった。単位をカウントする仕組みがほしい。





2020年3月  
大阪大学大学院人間科学研究科  
大阪大学人間科学部  
評価委員会・学生支援室

2019年度

## 大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び 人間科学部卒業生の学生生活に関する調査

このアンケートは人間科学研究科・人間科学部を修了/卒業しようとする皆さんを対象に行うものです。皆さんが過ごされた院生生活/学生生活を振り返り、日頃感じていたことを率直にお聞かせください。皆さんのご意見は今後の教育課程・教育内容・就職支援等の改善に役立てます。

あわただしい中で恐れ入りますが、よろしく御協力ください。アンケートは無記名で行います。回答は統計的に処理され、回答者を特定する事はありません。なお、調査結果は集計後、人間科学研究科/人間科学部 ホームページに掲載致しますのでご覧ください。

回答は選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけてください。原則として○はひとつですが、質問によってはいくつでも○をつけられるものもあります。選択肢ではなく、空欄に記入していただく質問もあります。

回答したアンケートは、色別に分けて出口で提出してください。



最初にあなた自身についてお教えてください。

問 1

1. 女性
2. 男性

問 2

1. 人間科学部 卒業
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程 修了
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程 修了

問 3

1. 行動学系 所属
2. 社会学・人間学系 所属
3. 教育学系 所属
4. 共生学系 所属
5. その他 所属

問 4

1. 民間企業 就職内定
2. 官公庁 就職内定
3. 大学院 進学決定
4. 未定
5. その他 (具体的に: )

つぎに、あなたの学生生活または院生生活についてお教えてください。

→学部卒業の方は次の問 5 へお進みください。  
大学院修了の方は問 7 へお進みください。

問 5 (学部卒業生のみご回答ください)

あなたは学科目を決める時、十分な情報を与えられたと思いますか。

1. 十分与えられた
2. まあ与えられた
3. あまり与えられなかった
4. 全然与えられなかった

問 6 (学部卒業生のみご回答ください)

学科目を選択した理由は、つぎのどれでしたか (〇はいくつでも)。

1. 入学前から学びたい内容が決まっていたから
2. 入学後に授業で学びたい内容が見つかったから
3. 学科目選択のためのガイダンスで興味をもったから
4. 魅力のある先生がいたから
5. 就職を考えて
6. 楽しそうだから
7. その他 (具体的に: )

問 7 学生生活または院生生活の中で、あなたはつぎの活動について、それぞれどの程度力を注いでいましたか。

	非常に力を注いだ	まあ力を注いだ	どちらともいえない	注がなかった	あまり力を注がなかった	力を注がなかった	該当しない
a. 授業	1	2	3	4	5	6	
b. 卒論・修論・博論	1	2	3	4	5	6	
c. 課題や試験勉強	1	2	3	4	5	6	
d. 就職活動	1	2	3	4	5	6	
e. 資格試験準備	1	2	3	4	5	6	
f. クラブ・サークル活動	1	2	3	4	5	6	
g. アルバイト	1	2	3	4	5	6	
h. レジャー	1	2	3	4	5	6	
i. ボランティアなど	1	2	3	4	5	6	
j. 大学または学部の自治会	1	2	3	4	5	6	

→学部卒業の方は次の問 8 へお進みください。

学部編入された方と大学院修了の方は問 9 へお進みください。

問 8 (編入生を除く学部卒業生のみご回答ください)

「専門基礎教育科目」(統計学A-I、統計学A-II、数学A、数学B)はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問9 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについてどう思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問10 本学部または本研究科で身に付いたことは何ですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他  
(具体的に： )

問11 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うことはどれですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他  
(具体的に： )

つぎにインターンシップについてうかがいます。

問12 在学中、インターンシップに参加しましたか（自主開拓も含めてお答えください）。

1. 参加した
2. 参加しなかった

→参加した方は問13へお進みください。  
それ以外の方は問14へお進みください。

問13（参加した方のみご回答ください）  
いつ参加しましたか（〇はいくつでも）。

1. 一年次、二年次
2. 三年次
3. 四年次
4. 修士一年次
5. 修士二年次
6. 博士一年次、二年次、三年次

つぎに就職活動についてうかがいます。

→在学中に、就職活動をされた方は次の問14へお進みください。  
それ以外の方は問18へお進みください。

問14 就職活動にあたって、役に立った（重要だった）ものを次の中から順に2つ選んで、番号を記入してください。

1 番目 ( )      2 番目 ( )

1. 学内の友人との情報交換
2. 学外の友人との情報交換
3. 人間科学部卒業生からの情報
4. クラブ・サークル等の先輩からの情報
5. 家族や親戚からの情報
6. インターンシップ
7. 学内でおこなわれた企業説明会
8. 学外でおこなわれた企業説明会
9. リクナビなどの就職情報サイト
10. その他（具体的に： )

問15 就職活動が一番忙しかった時期はいつですか。

西暦 

2	0		
---	---	--	--

 年 

--	--

 月頃

問 16 就職活動と学業の両立に困難を感じましたか。

1. 強く感じた
2. やや感じた
3. あまり感じなかった
4. ほとんど感じなかった

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望  
についてうかがいます。

問 17 就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学  
部・本研究科にどのような支援があればよいと  
思いますか(特に、首都圏・地方での就職活動、  
公務員試験の準備についての意見をお持ちの  
方)。

問 18 就職活動以外の面で、本学部・本研究科に  
どのような学生支援があればよいと思いま  
すか？

本学部または本研究科に対する総合的な意見  
についてうかがいます。

問 19 総合的に判断して、本学部または本研究科は  
満足できるものでしたか。

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 20 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は  
満足できるものでしたか。

例) 講義室・図書室・サイバーメディア室等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 21 本学部・本研究科の学生サポートは満足できる  
ものでしたか。

例) 事務・学生支援・就職支援等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 22 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・  
学生サポートで、改善して欲しいことがあれば  
具体的に記入してください。

問 23 人間科学部・人間科学研究科に対するご意見・  
ご感想ございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートのご協力ありがとうございました